

ことばのテーブル データ教材 第2集

拡大練習ワーク

ことばのテーブル データ教材第2集「拡大練習ワーク」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この教材は、拡大文(少しずつ長くなって行く文)をテーマとした教材です。拡大文を復唱する『文の復唱』と、単語を1語ずつ付け加えて拡大文を作る『文の作成』の、2つの課題を通して、聴覚的記憶力や文法能力の育成を図ります。その他にも、音読能力の向上、他者との協調など多種の学習目的があります。



● 練習に当たり、用意していただくもの

① 練習課題の用紙

CD 収録の PDF ファイルを開き、課題用紙を1枚、印刷します。

【注意】用紙は、B5のページサイズで作成されています。プリンターで印刷する場合、印刷画面で、「PDFのページサイズに合わせて用紙を選択」のタグにチェックを入れていただくと、B5サイズで印刷されます。

チェック例: PDFのページサイズに合わせて用紙を選択

ただし、子どもの読字や書字の能力に応じて、A4サイズなどに拡大して印刷して実施することも可能です。とくに、「文の作成」課題で、書字に未熟さが強い子どもは、A4の方が書き込みがしやすいと思います。

② 画板・衝立など

文の復唱課題では、子どもから課題の文が見えないように、画板のようなもので用紙を支えたり、まん中に衝立を置いたりします。

● 拡大練習ワークの使い方 *詳しくは CD 収録「練習の進め方」をお読みください。

I. 文の復唱課題 : 指導者が読み上げる文を、子どもが1文ずつ復唱します。
また、役割交替して、子どもが先生役となり、文を読み上げ、それを指導者が復唱します。

II. 文の作成課題 : 述語部分だけがあって、その他の部分は空欄になっている用紙に、単語を書き入れ、少しずつ長い文を作ります。

* 詳しくは、CD内収録の「練習の進め方」および「デモ映像集」をご覧ください。

たべた			
りんごを	たべた		
ママが	りんごを	たべた	
きのう	ママが	りんごを	たべた

			たべた
ア×を			たべた
			たべた
			たべた

【拡大練習ワークを行うために必要な能力】

基本課題について練習開始時に求められる能力を記載します。

I. 文の復唱課題

- ・練習開始時に、単語～2語文程度の復唱能力が求められます。(* 課題は3語文からスタートします)
- ・役割交替しての文の読み上げには、特殊表記を含めた単語レベル以上の音読能力が必要です。

II. 文の産生課題

- ・特殊表記も含めた単語～文レベルのひらがな書字能力が求められます。

【この教材の目的】

- ① 傾聴・聴覚的記憶力の向上 : 「文の復唱課題」を通して傾聴態度の育成と聴覚的記憶力の向上を図ります。
- ② 文法能力の育成 : 「文の復唱」・「文の作成」両課題を通して、助詞の運用や、文の構造(要素・語順など)についての理解を進めます。
- ③ 語想起能力の育成 : 「文の作成課題」を通して、文の内容となる単語の想起を促します。
- ④ 協調行動の育成 : 「文の復唱課題」を通して、相手の状況や反応の確認など、他者と協調した行動を学びます。
- ⑤ 注意能力の向上 : 「文の復唱課題」を通して、相手からの働きかけに対する注意・注目を促します。
- ⑥ 文の音読能力の育成 : 「復唱」「作成」両課題での文の読み上げを通して、文を正確に読む力を育てます。

* 詳しくは CD 収録「拡大練習ワークの学習目的」をお読みください。